



2021年1月14日

英語版の邦訳
(訳者 中村)

危険物輸送および化学品の分類および表示に 関する世界調和システムに関する専門家委員会

化学品の分類および表示に関する世界調和システム専門家小委員会

第39回化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 専門家小委員会報告

2020年12月9日～11日ジュネーブにおいて開催

項目

	パラグラフ	頁
I. 参加者	1-5	3
II. 組織的な事項.....	6-9	3
III. 議事次第の採択（議題 1）	10	4
IV. 第37回および第38回小委員会会合からの勧告（議題 2）	11	4
V. 分類基準及び関連する有害性情報の伝達（議題 3）	12-36	4
A. GHS小委員会に関連する事項の危険物輸送に関する専門家小委員会 （TDG小委員会）での作業	12-13	4
1. 試験方法及び判定基準のマニュアル、試験シリーズ Hの検討： 自己加速分解温度の決定	12	4
2. 酸化性液体および酸化性固体の試験法：粒子の大きさ、もろさ あるいは被覆物の検討に関連した改良	13	4
B. 第2.1章の検討	14-23	5
C. モデル規則の2.9.3.4.3.4およびGHSの4.1.3.3.4の明確化.....	24	6
D. 物理化学的危険性クラスにおける同時分類と危険有害性の 優先順位	25	7
E. 健康有害性分類に対する非動物試験法の使用.....	26	7
F. 実際の分類に関する問題	27	7
G. 誤えん有害性	28	7
H. ナノマテリアル	29	7

I.	その他	30-36	7
1.	GHSでの頭字語及び略語の定義と使用	30	7
2.	判定論理の検討	31-33	8
3.	作業場用の表示：1.4.10.5.5.1の明確化	34	8
4.	生殖細胞変異原性の区分1Bにおける 分類基準の明確化	35	8
5.	新規提案	36	9
VI.	危険有害性の情報伝達（議題 4）	37-43	9
A.	実際の表示に関する問題	37	9
B.	附属書1から3および注意書きのさらなる合理化	38	9
C.	附属書4のサブセクションA4.3.3.2.3の検討	39	9
D.	その他	40-42	9
1.	GHS附属書9および10における文書とテストガイドラインの 検討および更新	40-41	9
2.	附属書9（セクション9.7）および附属書10（金属及びその 化合物に関する）の、第4.1章の基準と一般的な環境有害性 ガイダンスへの整合	42	10
E.	新規提案	43	10
VII.	GHSの実施（議題 5）	44-50	10
A.	GHSに従って分類された化学品リストの開発の可能性	44-45	10
B.	実施状況に関する報告	46-48	10
C.	他の団体および国際機関との協力	49	11
D.	その他	50	11
VIII.	GHS判定基準の適用に関するガイダンスの開発（議題 6）	51	11
IX.	能力開発（議題 7）	52-53	11
X.	次期2年間2021年-2022年の作業計画（議題 8）	54-55	11
XI.	経済社会理事会決議案 2021/...（議題 9）	56	12
XII.	次期2年間2021年-2022年の役員選挙（議題 10）	57-58	12
XIII.	その他（議題 11）	59-61	12
A.	感謝の意	59-60	12
B.	次回の日程および書類提出期限	61	13
XIV.	報告書の採択（議題 12）	62	13

附属書

I.	GHS改訂8版（ST/SG/AC.10/30/Rev.8）の修正案	14
II.	2021年-2022年の小委員会の作業プログラム	20

I. 参加者

1. 第39回化学品の分類および表示の世界調和システムに関する専門家小委員会は、Ms. Maureen Ruskin (United States of America)を議長として、2020年12月9日から11日に開催された。
2. 以下の国々からの専門家が会議に出席した：Argentina, Australia, Austria, Brazil, Canada, China, Finland, France, Germany, Italy, Japan, Netherlands, New Zealand, Norway, Poland, Republic of Korea, Serbia, South Africa, Spain, Sweden, United Kingdom, United States of AmericaとZambia。
3. 経済社会理事会の手続き規則72に基づき、Chile, Myanmar, Peru, the Philippines、Switzerlandからのオブザーバーも参加した。
4. 以下の政府間組織も代表として参加した：欧州連合と経済協力開発機構(OECD)。
5. 以下の非政府組織の代表がそれぞれの関連する事項について議論に加わるために参加した：Australian Explosives Industry and Safety Group Incorporated (AEISG); Compressed Gas Association (CGA); Croplife International; Dangerous Goods Advisory Council (DGAC); European Association of Automotive Suppliers (CLEPA); European Chemical Industry Council (Cefic); European Industrial Gases Association (EIGA); Federation of European Aerosol Associations (FEA); Industrial Federation Paints and Coats of Mercosul (IFPCM); International Association for Soaps, Detergents and Maintenance Products (AISE); International Council on Mining and Metals (ICMM); International Petroleum Industry Environmental Conservation Association (IPIECA); Institute of Makers of Explosives (IME); Responsible Packaging Management Association of Southern Africa (RPMASA); Sporting Arms and Ammunition Manufacturers' Institute (SAAMI)とWorld Coatings Council (以前はIPPIC)。

II. 組織的な事項

非公式文書: INF.17 (secretariat)

6. 2020年前半にコロナウイルス (COVID-19) パンデミックが発生し、広がりを見せたことから、当初2020年7月8日～10日に開催を予定していた第39回小委員会は12月に延期された。事務局は、7月の会合に向けて既に提出された提案の進捗を支援するため、オンライン上に書面によるコメント交換のためのプラットフォームを設置し、書面によるフィードバックを明確にする必要があった追加の議論に対して非公式のネットワーク上の会合を開催した。結果として、いくつかの提案は受け取ったコメントを考慮して修正され、12月の会合での審議に向けて、原文の修正または補遺として提出された。
7. 公式文書の提出期限後、事務局は、COVID-19 の対応策、国際連合の流動性危機に端を発した財政的制約、戦略的な遺産計画の下で進行中の国連欧州本部（パレ-デ-ナシオン）の改修工事、およびハイブリッド会議に利用可能な会議室数に関する技術的制約が重なったため、欧州経済委員会が提供する会議に割り当てられる通訳付き会議の割り当てが、2020年の最終四半期に向けて大幅に減少したとの報告を受けた。このことを念頭に置き、世界的に実施されている検疫および渡航制限を考慮に入れ、事務局は、第39回会議の形式を適応させるために利用可能なオプションについて、会議サービスと協議した。
8. 2020年10月12日、議長からの書簡が、2019年から2020年の期間中の小委員会の作業に参加するすべての参加者及びその加盟国のジュネーブ国際連合事務局代表団に宛てて送付され、第39回会合の作業手配案と静かなる手続き (silence procedure)を通じた検討の要請がなされた。決められた期限内に異議がなかった場合、作業手配案は受理されたものとみなされた。

9. このため、事務局は、12月の第39回会合の検討のために提出された全ての提案について、書面でコメントを交換するためのオンラインプラットフォームを再び設置し、非公式文書INF.17に示されたとおり、非公式および公式会議を組み合わせ、リモートと現地での参加を可能にする形式で開催するために必要な準備を行った。

III. 議事次第の採択（議題 1）

文書: ST/SG/AC.10/C.4/77/Rev.1 and
ST/SG/AC.10/C.4/77/Rev.1/Add.1 (secretariat)

非公式文書: INF.1, INF.2 and INF.35 (secretariat)

10. 小委員会は、非公式文書 INF.1 から INF.37 を考慮し、修正した後、事務局が用意した暫定議題を採択した。第39回会合に備えて7月に開催された非公式議論のタイムテーブルを記載した非公式文書INF.11は、もはや関連性がなく、本会合では考慮されなかった。

IV. 第37回および第38回小委員会会合からの勧告（議題 2）

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/15 (secretariat)

11. 小委員会は、文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/15の第37回及び第38回会合での決定を確認し、附属書 3 の注意書きのマトリックス及び附属書 1 のA1.5の表の注釈を修正した（付属書 I 参照）。

V. 分類基準及び関連する有害性情報の伝達（議題 3）

A. GHS小委員会に関連する事項の危険物輸送に関する専門家小委員会（TDG小委員会）での作業

1. 試験方法及び判定基準のマニュアル、試験シリーズ Hの検討：自己加速分解温度の決定

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/4 and
ST/SG/AC.10/C.4/2020/4/Add.1 (Chairman of the Working
Group on Explosives)

非公式文書: INF.3 (Chairman of the Working Group on Explosives)
INF.36 (secretariat), パラグラフ5

12. 小委員会は、TDG小委員会が、文書 ST/SG/AC.10/C.4/2020/4 及び ST/SG/AC.10/C.4/2020/4/Add.1で提案された試験方法及び判定基準のマニュアルのセクション28の試験シリーズHを修正するための爆発物作業部会の勧告を承認し、この決定に同意したとの報告を受けた¹。

2. 酸化性液体および酸化性固体の試験法：粒子の大きさ、もろさあるいは被覆物の検討に関連した改良

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/9 (France)

非公式文書: INF.36 (secretariat), パラグラフ6

¹ TDG小委員会第57回会合報告書(document ST/SG/AC.10/C.3/114)を参照のこと。

13. 小委員会は、TGD小委員会によるこの議題の議論の結果に着目し、試験方法及び判定基準のマニュアルのセクション34に注記を挿入するという勧告に同意した²。

B. 第2.1章の検討

文書:	ST/SG/AC.10/C.4/2020/5 and ST/SG/AC.10/C.4/2020/5/Add.1 (Sweden) ST/SG/AC.10/C.4/2020/8 and ST/SG/AC.10/C.4/2020/8/Add.1 (Sweden) ST/SG/AC.10/C.4/2020/16 (Sweden) ST/SG/AC.10/C.4/2020/18 (Sweden)
非公式文書:	INF.14 (Sweden) INF.16 (Sweden) INF.19 (Sweden) INF.22 (Germany) INF.25 (Sweden) INF.29 (Sweden) INF.30 (Sweden) INF.36 (secretariat), パラグラフ7
背景文書:	ST/SG/AC.10/C.4/2020/7 (Sweden) Informal documents INF.10 (United States of America, IME, SAAMI) and INF.13 (Sweden)

14. 小委員会は、TDG小委員会がGHSの第2.1章の見直し案に関する火薬類作業部会の勧告を支持し、承認したとの報告を受けた。

15. 小委員会内では、第2.1章の見直し案に対する全面的な支持があった。現在の爆発物の分類基準は、輸送規則から引用されたものであり、爆発物はその輸送形態で取り扱われることが期待されている。意見を述べた専門家のほとんどは、輸送のための分類基準を変更することなく、爆発物が輸送形態ではないライフサイクル（例えば、製造、加工、供給及び使用）において、それらの各部門や段階のニーズにより良く対応しているの、安全性向上に向けて一歩前進すると考えた。

16. 中国の専門家は、第2.1章の見直しを基本的に支持することを表明する一方で、新しい分類スキームがある種の爆発物、特にモデル規則の2.1.3.5のデフォルトの分類表基準に従って分類された花火に与える影響について、いくつかの懸念を表明した。彼女はまた、新しいGHS分類スキームを国家レベルで実施することの難しさについて懸念を表明し、その実施を支援するためのガイダンスが開発されうると考えた。

17. 中国の専門家が表明した懸念、すなわち新しい分類スキームが類推により、あるいはモデル規則のデフォルトの分類基準に従って分類された爆発物をどのように扱うかに対して、このケースは新しい2.1.1.3.1でカバーされることが指摘された。そして「以前の試験や特性評価から入手可能な情報に基づいて専門家判断による分類が可能な場合には、試験データは必要とされない。適切な場合、試験された爆発物への類推が使用可能であり、構成の変更が試験された構成と比較してもたらされる有害性に影響を与える可能性があるかを考慮する。（本報告書でのみの仮約）」と言及される。

18. ガイダンスの作成については、2.1.4.3の文章が新しい分類スキームをどのように適用するべきかを理解するのに役立つとの指摘があった。しかし、いくつかの追加的なガイダンスが作成できることが認識され、米国の専門家は、次期2年間でこの課題について他の興味ある関係者と協力して作業することに合意した。

² TDG小委員会第57回会合報告書(document ST/SG/AC.10/C.3/114)を参照のこと。

19. セクション2.1.1.1.2.3のクラス1以外の爆発物に対する文章、特に輸送におけるクラス9に割り当てられた爆発物成形品に関連するパラグラフに関して、一部の専門家は、さらなる検討が必要かもしれないと考えた。しかし、他の専門家は、必要であれば次期2年間に、その明確化の作業を継続できるという理解の上で、この文書を承認することを支持した。

20. 意見交換の後、小委員会は以下のとおり採択した：

- (a) 非公式文書INF.29（パラグラフ7及び8）により修正され、非公式文書INF.30に統合された文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/5及びST/SG/AC.10/C.4/2020/5/Add.1の第2.1章への修正（付属書Iを参照）。
- (b) 非公式文書INF.22（パラグラフ5）及びINF.25（火薬類作業部会で修正されTDG小委員会で承認された）で修正され、非公式文書INF.30に統合された文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/18における判定論理（付属書Iを参照）。
- (c) 輸送におけるクラス1の爆発物にのみ適用できるようにするための注意書きP236の使用の追加条件と共に、文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/8及びST/SG/AC.10/C.4/2020/8/Add.1におけるGHSの付属書3、第2節の修正（付属書Iを参照）。

21. 小委員会はまた、非公式文書INF.16にある爆発物のマトリクスを採択したが、このマトリクスは注意書きP236に使用するための追加条件を付して修正されたものである（付属書Iを参照）。

22. GHSの新しい第2.1章の採択を受けて、小委員会は、試験方法と分類基準のマニュアルを文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/16での提案に従い、火薬類作業部会によって推奨された図10.2の19番のボックスと10.6(b)及び10.7(b)の修正、10.4.1.1.1項における2.1.1.2.1の参照を修正するべきであることを確認した³。

23. 小委員会は、この6年間、本小委員会(非公式対応グループのリーダーとして)及びTDG小委員会の火薬類作業部会の両方において、このトピックの作業を主導してきたスウェーデンの専門家に感謝の意を表明した。また、火薬類作業部会の議長(Mr. Ed de Jong)、このトピックの作業に関わったすべての人々あるいは貢献してくれたすべての人々にも感謝の意を表した。スウェーデンの専門家のリーダーシップと調整のもと、両小委員会間の優れた協力関係があったからこそ、関係する全ての利害関係者が満足する形で作業が完了したと指摘された。

C. モデル規則の2.9.3.4.3.4およびGHSの4.1.3.3.4の明確化

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/10 (China)
ST/SG/AC.10/C.4/2020/10/Add.1 (China)

非公式文書: INF.36 (secretariat), パラグラフ8

24. 小委員会は、TDG小委員会が、文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/10のパラグラフ6のオプション2に従って、モデル規則の第2.9.3.4.3.4の修正を採択したとの報告を受けた。GHSの4.1.3.3.4項の文章が表4.1.1(b)(i)の基準と一致していないことを認識し、小委員会は、ST/SG/AC.10/C.4/2020/10のパラグラフ7で提案されたとおりに修正することに合意した（付属書I参照）。

³ TDG小委員会第57回会合報告書(document ST/SG/AC.10/C.3/114)を参照のこと。

D. 物理化学的危険性クラスにおける同時分類と危険有害性の優先順位

25. ドイツの専門家は、このトピックに関する作業が次期2年間にも継続されることを小委員会に伝え、関心のあるすべての専門家は彼女（Ms. Cordula Wilrich）に連絡するよう促した。小委員会は、この項目を2021年-2022年までの作業計画書に記載しておくことに合意した（付属書II参照）。

E. 健康有害性分類に対する非動物試験法の使用

非公式文書: INF.12 and INF.12/Rev.1 (United Kingdom, Netherlands)
INF.26 (United Kingdom, Netherlands)

26. 小委員会は、非公式文書INF.12及びINF.12/Rev.1の進捗報告に留意し、非公式文書INF.26の2021年-2022年の非動物試験方法に関する非公式作業グループの作業のために改訂された付託事項に合意した（付属書II参照）。

F. 実際の分類に関する問題

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/14 (United States of America)
非公式文書: INF.32 (United States of America)

27. 小委員会は、文書 ST/SG/AC.10/C.4/2020/14における事例を非公式文書 INF.32の修正を加えて採択し（付属書I参照）、GHS ガイドランスのウェブページ⁴で既に利用可能な GHS 基準への適用に関する事例リストに追加するよう事務局に要請した。

G. 誤えん有害性

28. 世界コーティング協議会（旧 IPPIC）の代表者は、情報とデータの収集がまだ進行中であることを小委員会に伝え、当面の間、この項目を作業計画から外すことを提案した。彼女は、このトピックに関する進展があれば、小委員会に報告されるであろうと示唆した。

H. ナノマテリアル

29. この議題は議題8（パラグラフ54 (c)を参照）で取り上げられた。

I. その他

1. GHSでの頭字語及び略語の定義と使用

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/2 (secretariat)
ST/SG/AC.10/C.4/2020/11 and
ST/SG/AC.10/C.4/2020/11/Add.1 (Germany)
非公式文書: INF.18 (Canada)

30. 小委員会は、文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/2のパラグラフ5、6、8、9、10の提案と、同じく文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/11及びST/SG/AC.10/C.4/2020/11/Add.1のパラグラフ7の提案について、非公式文書INF.18で提案された第1.2章の最初の注記の文書を修正した上で採択した（付属書I参照）。

⁴ <https://unece.org/transportdangerous-goods/ghs-guidance>

2. 判定論理の検討

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/3 (secretariat)
ST/SG/AC.10/C.4/2020/3/Add.1 (secretariat)

背景文書: INF.5 (secretariat), INF.6 (Germany) and INF.8 (secretariat)

31. 小委員会は、文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/3のパラグラフ3の提案を採択し、ST/SG/AC.10/C.4/2020/3/Add.1のパラグラフ3、5及び6の追加的な修正と訂正、並びに非公式文書INF.5の判定論理2.3.1 (c)のフランス語版の修正を行った（付属書I参照）。

32. ST/SG/AC.10/C.4/2020/3/Add.1 のパラグラフ5の提案に関連する派生的な修正案について、小委員会は、これらの提案は更なる検討に値すると考え、次期2年間で対応することを決定した。

33. 小委員会は、非公式文書 INF.6 に概説された判定論理の設計、表示、構造の一般原則について、次期2年間で作業を行い、さらなる改善を図る意向があるとのドイツの専門家による情報を歓迎した。

3. 作業場用の表示：1.4.10.5.5.1の明確化

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/6 and ST/SG/AC.10/C.4/2020/6/Add.1 (secretariat)

34. オランダの専門家からの明確化の要請を受け、小委員会は、パラグラフ1.4.10.5.5.1の文脈における「デカンテーション」とは、化学物質をはじめの容器から仮容器に移すことを意味し、混合物の成分の分離を意味するものではないことを確認した。このパラグラフ策定の主な目的は、化学物質がラベル表示されていない仮容器に入れられた場合に、作業員がその化学物質の危険性情報を容易に入手できるようにすることにあると指摘された。これらの理由から、小委員会は、オプション 3(b)及び文書 ST/SG/AC.10/C.4/2020/6/Add.1 のパラグラフ6の提案を採択した（付属書I参照）。製品特定名（GHS の付属書4のセクションA4.3.1で定義されている）は、化学物質を明確に特定すると同時に、所管官庁がGHS のパラグラフ1.4.10.5.2 (d) (iii)で示されている代替方法を使用する裁量を供給者に与えることができると理解されていたためである（付属書I参照）。

4. 生殖細胞変異原性の区分1Bにおける分類基準の明確化

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/13 and
ST/SG/AC.10/C.4/2020/13/Add.1 (European Union)

非公式文書: INF.37 (European Union)

背景文書: INF.7 (Germany)

35. 小委員会は、非公式文書 INF.37 に記載されているように、OECD が作業に関与することを条件に、非公式作業グループでこの問題に取り組むという提案に原則的に同意した。小委員会は、非公式作業グループの最初の作業は、非公式文書INF.37の草案に基づいて、非動物試験の非公式作業グループと非動物試験方法を捕捉するためのあらゆる作業の議論など、小委員会からのコメントを考慮に入れて、その作業のための委任事項について議論し、合意することであるとの報告を受けた。非公式作業グループは、将来の会合で検討するために、合意された委任事項と詳細な作業計画を小委員会に提出するであろう。非公式作業グループの作業は、欧州委員会の共同研究センター（JRC）によって組織されることが指摘された。

5. 新規提案

36. この議題の小項目では文書が提出されなかったため、本課題は検討されなかった。

VI. 危険有害性の情報伝達に関する課題（議題 4）

A. 実際の表示に関する問題

非公式文書: INF.28 (Cefic)

37. 小委員会は、非公式文書 INF.28 のパラグラフ5および6の委任事項と作業計画に従い、実際の表示に関する問題に関する作業を 2021 年-2022 年の間も継続すべきであることに合意し（付属書II参照）、Cefic が引き続きこの作業を主導することに着目した。

B. 付属書1から3および注意書きのさらなる合理化

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/12 (United Kingdom)

非公式文書: INF.4 (United Kingdom)
INF.20 (United Kingdom)

38. 小委員会は、非公式文書INF.20 の GHS 付属書1 から 3 の改善に関する非公式作業グループの作業状況に着目し、文書 ST/SG/AC.10/C.4/2020/12 のパラグラフ 6 から 9 の付属書 3 の修正を採択した（付属書I参照）。

C. 付属書4のサブセクションA4.3.3.2.3の検討

39. Cefic の代表者は、次期2年間ではこのトピックに関する作業は行われたい見込みであることを小委員会に知らせた。その結果、小委員会は、2021年-2022年の作業計画からこの項目を削除することを決定した。

D. その他

1. GHS付属書9および10における文書とテストガイドラインの検討および更新

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/1 (secretariat)

40. 小委員会は、文書 ST/SG/AC.10/C.4/2020/1のオプション 2 に従って提案された修正を採択した（付属書I参照）。小委員会は、提案されたアプローチは、最新の試験方法の重要性に関して第 28 回会合で表明された見解（ST/SG/AC.10/C.4/56、パラグラフ 41 参照）と一致しており、付属書 9 及び 10 の脚注の煩雑な繰り返しを避けることができると考えた。また、すべての参考文献を同じ場所で提供することは将来の更新を容易にすると指摘された。各国代表は、参考文献が定期的に改訂され、更新されることを確実にする方法を検討するよう求められた。

41. 標準又は試験ガイドラインの新しいバージョンに対する古いバージョンの適用性の問題について、議長は、自国の規制当局者としての経験から、標準又は試験ガイドラインが規制文書の中で参照として公布された場合には、その中で言及されている特定のバージョンのみが義務化されると指摘した。しかしながら、より最新のバージョンも、それと同等であれば認められた。他の国では異なる要求事項がある可能性があることが認識された。

2. 附属書9（セクション9.7）および附属書10（金属及びその化合物に関する）の、第4.1章の基準と一般的な環境有害性ガイダンスへの整合

非公式文書: INF.9 and INF.9/Rev.1 (ICMM)

42. 小委員会は、提案された情報に着目し、この項目を2021年-2022年の作業計画書に記載しておくことに合意した（附属II参照）。

E. 新規提案

43. この議題の小項目では文書が提出されなかったため、本課題は検討されなかった。

VII. GHSの実施（議題5）

A. GHSに従って分類された化学品リストの開発の可能性

文書: ST/SG/AC.10/C.4/2020/17 (Canada, United States of America)

44. 小委員会は、文書 ST/SG/AC.10/C.4/2020/17 のパラグラフ1～7の中でGHSに従って分類された化学物質のグローバルリストの作成に関する非公式対応グループの作業状況に着目し、その文書の付属書の作業計画に従って2021年-2022年間に作業を継続すべきであることに合意した（附属書II参照）。

45. スウェーデンの専門家は、本文書のパラグラフ5～7に記載されている研究が最終的な原案段階にあり、第40回会合で提出可能となる予定であることを小委員会に知らせた。

B. 実施状況に関する報告

非公式文書: INF.33, INF.33/Add.1 and INF.33/Add.2 (secretariat)

46. 小委員会は、事務局が世界のGHS実施状況に関する情報を更新していることに感謝の意を表した。また、化学物質及び廃棄物の健全な管理の達成に向けた進捗状況を把握するための指標の一つとして、「GHSを実施している国の数」がIOMCによって特定されていることに注目した。

47. データ収集のための調和のとれたアプローチの必要性を考慮し、小委員会は、非公式文書 INF.33 のパラグラフ18に記載された項目に関し、容易なアクセスのため、情報を要求するフォームを開発し、ウェブサイト上で利用可能にするという事務局による提案を歓迎した。事務局は、受け取った情報をまとめ、ウェブサイト上で更新し、必要に応じて小委員会に報告する。それまでの間、小委員会の作業に参加している人は、非公式文書 INF.33/Add.2に記載されている情報を更新し、2021年1月末までに事務局にフィードバックを送るよう求められた。更新された情報は、UNECEのウェブサイト⁵で公開される予定である。小委員会の作業に参加していない国のGHS実施状況に関する情報は、地域機関（例えばアジア太平洋経済協力（APEC）など）の報告書で入手できる可能性がある旨指摘された。

48. 小委員会は、TDG小委員会が情報の収集、編集のやり方を検討する出発点として、モデル規則の実施に関する議題に常設項目を導入することを決定したことが報告された。事務局により収集されるGHSの実施状況に関する情報には、モデル規則やモーダル輸送に対処する国際文書の実施状況についての詳細も含まれていることが言及された。

⁵ http://www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/implementation_e.html

C. 他の団体および国際機関との協力

49. この議題の小項目では文書が提出されなかったため、本課題は検討されなかった。

D. その他

50. この議題の小項目では文書が提出されなかったため、本課題は検討されなかった。

VIII. GHS判定基準の適用に関するガイダンスの開発（議題 6）

51. 小委員会は、議題番号3(f)の下で、3.8章及び3.9章の基準の一部をどのように解釈するかを指針となる例を検討した（パラグラフ27参照）。

IX. 能力開発（議題 7）

非公式文書: INF.34 (RPMASA)

52. 小委員会は、非公式文書 INF.34 で提供された情報に注目した。

53. 南アフリカの専門家は、18ヶ月の移行期間を認めた、GHS 改訂7版に基づいた職場での表示に対処する法律がまもなく公布される見込みであること、およびその実施に向けて労働検査官の研修が開始されたことを小委員会に報告した。

X. 次期2年間2021年-2022年の作業計画（議題 8）

非公式文書: INF.15 (Japan)
 INF.21 (United Kingdom)
 INF.23 (Germany)
 INF.27 (Netherlands, United Kingdom)
 INF.31 (United States of America)

54. 小委員会は、以下の追加的な意見とともに、本議題項目で議論された全ての提案について合意した：

- (a) 小委員会は、日本からの皮膚感作性の細区分における局所リンパ節試験（LLNA）の適用性を検討する作業を主導する旨の申し出を歓迎した。小委員会は、この問題がOECDの皮膚感作に関する専門家グループで検討されていることを踏まえ、その第一歩として、OECDレベルでの議論と成果について、第40回会合にて小委員会に報告するよう日本の専門家に促した。また、日本が主導する作業は、英国とオランダが主導する非動物試験法に関する進行中の作業と並行して行うべきであることが指摘された。
- (b) 小委員会は、実際の分類に関する問題の非公式グループが、非公式文書INF.23（オプション2）でドイツにより提案された課題に対する作業に取り組むことに合意し、非公式文書INF.31の2021-2022年の作業計画案にそれを盛り込んだことに注目した。
- (c) フランスの専門家の発言を受けて、小委員会は、ナノマテリアルに関する項目を2021-2022年の作業計画に残すことを決定した。

55. 今回と以前の会合中に、この項目及びその他の議題項目下で議論され、承認された提案に基づき、2021-2022年の作業計画に合意した（付属書II参照）。

XI. 経済社会理事会決議案 2021/... (議題 9)

非公式文書: INF.24 (secretariat)

56. 小委員会は、経済社会理事会の2021年例会での検討のために提案された決議草案パートBを採択した。

XII. 次期2年間2021年-2022年の役員選挙 (議題 10)

57. 手順の規則第68条によると、「すべての選挙は無記名投票で行われるものとする。ただし、異議がない場合、合意された候補者または候補者名簿について投票を行わずに進めることを〔小委員会〕が決定した場合を除く」とされていることが想起された。オンライン公式会合中に無記名投票を行うことは技術的に不可能であることから、小委員会は、無記名投票の要請を受けていない場合には、合意された候補者または候補者名簿に基づいてでしか2021-2022年の事務局の選挙を行えないことが指摘された。無記名投票が要求された場合は、選挙を開催するための可能な限り早い時期まで選挙を延期しなければならなかったであろう。

58. 無記名投票の要請はなかった。小委員会は、特にパンデミックの影響が会合の運営に及んだ結果、小委員会が直面した例外的な課題を考慮し、2019-2020年における議長のリダーシップと調整作業に感謝の意を表明した。ドイツと米国の提案に基づき、他の代表団の支持を得て、小委員会は、Ms. Maureen Ruskin (米国)を委員長に再選し、Ms. Nina John (オーストリア)を2021年から2022年までの副委員長に選出した。選挙は満場一致で行われた。

XIII. その他 (議題 11)

A. 感謝の意

59. 2014年7月からドイツ代表団の団長として参加していたSabine Darschnik氏、2003年12月から会合に参加し、2008年7月からスウェーデン代表団の団長として参加していたLennart Dock氏が間もなく退職し、会合に参加しなくなるとの情報が小委員会に寄せられた。また、2017年7月からオーストラリア代表団の団長として会合に参加し、2019年7月から小委員会の副委員長を務めていたPaul Taylor氏が、他の政府機関での新しい役割を引き受けたため、小委員会の作業に参加しなくなるとの情報が寄せられた。

60. 小委員会は、彼らの作業とGHSの実施への貢献のすべてに感謝の意を表するとともに、彼らの将来が最良のものとなるよう祈念した。

B. 次回の日程および書類提出期限

61. 小委員会は、第40回会合が2021年7月5日～7日（午前）に開催され、公式文書の提出期限は2021年4月9日であることを知らされた。

XIV. 報告書の採択 (議題 12)

62. 慣例に従い、小委員会は、事務局により準備された草案に基づいて第39回会合の報告書及びその付属書を採択した。

GHS 改訂 8 版 (ST/SG/AC.10/30/Rev.8) の修正案**Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/15, adopted with the following modifications:**

Under “Annex 3, Section 3, matrix of precautionary statements”:

In the first line, delete “and desensitized explosives (categories 1, 2, 3 and 4)”.

Add the following new amendment:

“Desensitized explosives (categories 1, 2, 3 and 4), under “Prevention”, wording of precautionary statement P230

Replace with:

“Keep diluted with...

...Manufacturer/supplier or competent authority to specify appropriate material.”

Under the amended Annex I, Table A1.5, in table note a, replace “Model Regulations” by “UN Model Regulations”.

Documents ST/SG/AC.10/C.4/2020/5 and ST/SG/AC.10/C.4/2020/5/Add.1, adopted with the following amendments:

2.1.1.3.1 Insert the following new third sentence: “Test data is not required when classification using expert judgement is possible based on available information from previous testing and characterization.”.

The proposed new third sentence in document ST/SG/AC.10/C.4/2020/5/Add.1 becomes the new fourth sentence of 2.1.1.3.1, with the following additional amendment: Delete “, and being narrowly limited according to the quantity, packaging and design of the explosive.”.

(Reference document: Report of the Working Group on Explosives INF.38, paragraph 13 (TDG Sub-Committee, 57th session))

2.1.1.2 Add the following new paragraphs 2.1.1.2.3 to 2.1.1.2.3.2:

“2.1.1.2.3 For explosive articles that are assigned a specific UN number in a class other than Class 1 according to the Dangerous Goods List of the *UN Model Regulations*, the following applies.

2.1.1.2.3.1 Explosive articles that are assigned a specific UN number in Class 2, 3, 4 or 5 are classified in the GHS hazard class and, where available, category corresponding to the transport classification, and excluded from the hazard class explosives, provided that:

- (a) they are in the transport configuration; or
- (b) the transport classification does not depend on a particular configuration; or
- (c) they are in use, see 2.1.1.3.4.

2.1.1.2.3.2 Explosive articles that are assigned a specific UN number in Class 9 are classified as explosives in Sub-category 2C, provided that:

- (a) they are in the transport configuration; or
- (b) the transport classification does not depend on a particular configuration; or
- (c) they are in use, see 2.1.1.3.4.

NOTE 1: *Subject to approval from the competent authority, explosive articles that are assigned a specific UN number in division 6.1 within Class 6 or in Class 8 may be classified in the GHS hazard class and, where available, category corresponding to the transport classification, and excluded from the hazard class explosives, provided that conditions (a) to (c) of 2.1.1.2.3.1 are met.*

NOTE 2: *According to the UN Model Regulations, articles are normally not assigned packing groups and hence a category within the corresponding GHS hazard class cannot always be assigned on this basis. Expert judgement should be used to assign an appropriate category in these cases, taking into account the GHS classification of the substances or mixtures contained.*

(Reference documents: informal documents INF.29 and INF.30)

2.1.1.3.4 In the second sentence, replace “no longer retains” with “may no longer retain”.

(Reference document: Report of the Working Group on Explosives INF.38, paragraph 13 (TDG Sub-Committee, 57th session))

2.1.2.1 In the criteria for Category 1, under (a) (ii), replace “positive effects” with “positive results”.

(Reference document: Report of the Working Group on Explosives INF.38, paragraph 13 (TDG Sub-Committee, 57th session))

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/18, adopted with the following modifications:

In decision logic 2.1 (a):

Amend the text in box 2B to read “Is it in the primary packaging to which a division was assigned?”.

Amend the text in box 3B to read “Is it an explosive article where the division has been assigned (i) in a primary packaging that does not attenuate the explosive effect or (ii) without a primary packaging?”.

On the arrow from box 3B to box 2C, replace “No” by “Yes”.

On the arrow from box 3B to box 4C, replace “Yes” by “No”.

(Reference documents: informal documents INF.22 and INF.30)

In box 5A, replace “positive effects” with “positive results”.

(Reference document: Report of the Working Group on Explosives INF.38, paragraph 13 (TDG Sub-Committee, 57th session))

In decision logic 2.1 (b):

Amend table note a to read as follows:

“^a In the absence of results from test 6 (a) or 6 (b), results from test 6 (d) may be used to assess whether there was a high hazard event, see 2.1.2.1. If the configuration includes attenuating features that are likely to mitigate a high hazard event, such as spacing or a specific orientation of explosive articles, Sub-category 2A may be assigned without the need to assess test data.”

(Reference documents: informal documents INF.25 and INF.30)

Documents ST/SG/AC.10/C.4/2020/8 and ST/SG/AC.10/C.4/2020/8/Add.1, adopted with the following additional amendment:

In the new row for P236 in ST/SG/AC.10/C.4/2020/8/Add.1, in column (5), before “*May be omitted for single packagings ... (within Class 1) appears.*”, add:

“*To be applied for explosives assigned a division within Class 1 for transport.*”

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/10, proposal in paragraph 7: adopted.

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/2, proposals in paragraphs 5, 6, 8, 9 and 10, adopted.

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/11, adopted with the following modification:

In proposal 2, amend the new text to be inserted at the beginning of Chapter 1.2 to read as follows:

“This Chapter provides definitions and abbreviations of general applicability that are used in the GHS. Additional definitions of the individual hazard classes and related terms are presented in the relevant chapters.”

(Reference document: informal document INF.18)

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/3 adopted as amended by ST/SG/AC.10/C.4/2020/3/Add.1 (paragraphs 3, 5 (for 4.1.3 (b) only) and 6), with the correction to the French version of decision logic 3.5.1 (c) in informal document INF.5 and the following additional amendment:

In the French version of ST/SG/AC.10/C.4/2020/3/Add.1, replace the amendment to 4.1.3 (b) in paragraph 5 to read: « Dans le diagramme de décision 4.1.3 b) remplacer (cinq fois) « CSEO » par « CSEO ou CE_x ».

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/6/Add.1, proposal 3 (b) in paragraph 5 and proposal in paragraph 6: adopted.

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/12: adopted.

Document ST/SG/AC.10/C.4/2020/1, option 2: adopted.

Informal document INF.16, adopted as amended, as follows:

In Annex 3 of the GHS, section 3 replace the three first matrix tables by the following:

**EXPLOSIVES
(CHAPTER 2.1)**

Hazard category	Symbol	Signal word	Hazard statement
1	Exploding bomb	Danger	H209 Explosive H210 Very sensitive H211 May be sensitive



Precautionary statements			
Prevention	Response	Storage	Disposal
<p>P203 Obtain, read and follow all safety instructions before use.</p> <p>P210 Keep away from heat, hot surfaces, sparks, open flames and other ignition sources. No smoking.</p> <p>P230 Keep diluted with... <i>- for explosive substances and mixtures that are diluted with solids or liquids, or wetted with, dissolved or suspended in water or other liquids to reduce their explosives properties</i> ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify appropriate material.</p> <p>P240 Ground and bond container and receiving equipment. <i>- if the explosive is electrostatically sensitive.</i></p> <p>P250 Do not subject to grinding/shock/friction/... <i>- if the explosive is mechanically sensitive.</i> ...Manufacturer/supplier or the competent authority to specify applicable rough handling.</p> <p>P280 Wear protective gloves/protective clothing/eye protection/face protection/hearing protection/... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify the appropriate personal protective equipment.</p>	<p>P370 + P372 + P380 + P373 In case of fire: Explosion risk. Evacuate area. DO NOT fight fire when fire reaches explosives.</p>	<p>P401 Store in accordance with... ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify local/regional/national/international regulations as applicable.</p>	<p>P503 Refer to manufacturer/supplier/... for information on disposal/recovery/recycling ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify appropriate source of information in accordance with local/regional/national/international regulations as applicable.</p>

**EXPLOSIVES
(CHAPTER 2.1)**

Hazard category	Symbol	Signal word	Hazard statement
2A	Exploding bomb	Danger	H209 Explosive
2B	Exploding bomb	Warning	H204 Fire or projection hazard



Precautionary statements			
Prevention	Response	Storage	Disposal
<p>P203 Obtain, read and follow all safety instructions before use.</p> <p>P210 Keep away from heat, hot surfaces, sparks, open flames and other ignition sources. No smoking.</p> <p>P230 Keep diluted with... <i>- for explosive substances and mixtures that are diluted with solids or liquids, or wetted with, dissolved or suspended in water or other liquids to reduce their explosives properties</i> ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify appropriate material.</p> <p>P234 Keep only in original packaging. <i>- Omit where P236 is applied</i></p> <p>P236 Keep only in original packaging; Division ... in the transport configuration. <i>- to be applied for explosives assigned a division within Class 1 for transport.</i> <i>- may be omitted for single packaging where the transport pictogram displaying the division (within Class 1) appears.</i> <i>- may be omitted where the use of different outer packaging results in different divisions for transport.</i> ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify the division for transport.</p> <p>P240 Ground and bond container and receiving equipment. <i>- if the explosive is electrostatically sensitive.</i></p> <p>P250 Do not subject to grinding/shock/friction/... <i>- if the explosive is mechanically sensitive.</i> ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify applicable rough handling.</p> <p>P280 Wear protective gloves/protective clothing/eye protection/face protection/hearing protection/... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify the appropriate personal protective equipment.</p>	<p>P370 + P372 + P380 + P373 In case of fire: Explosion risk. Evacuate area. DO NOT fight fire when fire reaches explosives.</p>	<p>P401 Store in accordance with... ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify local/regional/national/international regulations as applicable.</p>	<p>P503 Refer to manufacturer/supplier/... for information on disposal/recovery/recycling ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify appropriate source of information in accordance with local/regional/national/international regulations as applicable.</p>

**EXPLOSIVES
(CHAPTER 2.1)**

Hazard category	Symbol	Signal word	Hazard statement
2C	Exclamation mark 	Warning	H204 Fire or projection hazard

Precautionary statements			
Prevention	Response	Storage	Disposal
<p>P210 Keep away from heat, hot surfaces, sparks, open flames and other ignition sources. No smoking.</p> <p>P230 Keep diluted with... <i>- for explosive substances and mixtures that are diluted with solids or liquids, or wetted with, dissolved or suspended in water or other liquids to reduce their explosives properties</i> ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify appropriate material.</p> <p>P234 Keep only in original packaging. <i>- Omit where P236 is applied</i></p> <p>P236 Keep only in original packaging; Division ... in the transport configuration. <i>- to be applied for explosives assigned a division within Class 1 for transport.</i> <i>- may be omitted for single packaging where the transport pictogram displaying the division (within Class 1) appears.</i> <i>- may be omitted where the use of different outer packaging results in different divisions for transport.</i> ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify the division for transport.</p> <p>P240 Ground and bond container and receiving equipment. <i>- if the explosive is electrostatically sensitive.</i></p> <p>P250 Do not subject to grinding/shock/friction/... <i>- if the explosive is mechanically sensitive.</i> ...Manufacturer/supplier or the competent authority to specify applicable rough handling.</p> <p>P280 Wear protective gloves/protective clothing/eye protection/face protection/hearing protection/... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify the appropriate personal protective equipment.</p>	<p>P370 + P380 + P375 In case of fire: Evacuate area. Fight fire remotely due to the risk of explosion</p>	<p>P401 Store in accordance with... ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify local/regional/national/international regulations as applicable.</p>	<p>P503 Refer to manufacturer/supplier/... for information on disposal/recovery/recycling ... Manufacturer/supplier or the competent authority to specify appropriate source of information in accordance with local/regional/national/international regulations as applicable.</p>

(Reference document: informal document INF.16 as amended)

付属書 II

2021年-2022年の小委員会の作業プログラム

1. 分類基準及び関連する有害性情報の伝達に関する事項、以下を含む:

- (a) 酸化性液体及び酸化性固体の試験法
主導国: フランス
フォーカルポイント: TDG小委員会
権限/委任事項: 非公式文書INF.22（第36回会合）及び第36回小委員会報告書（ST/SG/AC.10/C.4/72、パラグラフ19）及び本報告書のパラグラフ13
- (b) 健康有害性分類に対する非動物試験法の使用
主導国: オランダ及びイギリス
権限/委任事項: 非公式文書INF.26及び本報告書のパラグラフ26
- (c) OECD試験ガイドライン442Bに従った局所リンパ節検定(LLNA)試験法の結果を用いた皮膚感作性の分類
主導国: 日本
参照: 非公式文書INF.15及び本報告書のパラグラフ54 (a)
- (d) 生殖細胞変異原性（細区分1B）における分類基準
フォーカルポイント: 生殖細胞変異原性（細区分1B）における非公式作業グループ（欧州委員会共同研究センター(JRC)主催の作業）
参照: 非公式文書INF.37及び本報告書のパラグラフ35
- (e) 実的な分類の問題
主導国: アメリカ
フォーカルポイント: 実的な分類に関する問題における非公式対応グループ
権限/委任事項: 非公式文書INF.31及び本報告書パラグラフ27
- (f) ナノマテリアル
権限/委任事項: 非公式文書INF.27（第32回会合）及び第32回、36回、38回の小委員会報告書（ST/SG/AC.10/C.4/64、パラグラフ32; ST/SG/AC.10/C.4/72、パラグラフ42; ST/SG/AC.10/C.4/76、パラグラフ24）及び本報告書のパラグラフ54 (c)
- (g) 物理化学的危険性クラスにおける同時分類および危険有害性の優先順位
主導国: ドイツ
権限/委任事項: 第36回小委員会報告書（ST/SG/AC.10/C.4/72、パラグラフ74）において修正された文書ST/SG/AC.10/C.4/2018/21。本報告書のパラグラフ25も参照

2. その他の危険有害性の情報伝達に関する問題、以下を含む:

- (a) 実的な表示に関する問題
主導機関: Cefic
背景文書: 非公式文書INF.28及び本報告書のパラグラフ37
- (b) 付属書1から3の改善及び注意書きの合理化

主導国: イギリス

権限/委任事項: 非公式文書INF.21及び本報告書のパラグラフ55

3. 実施に関する問題、以下を含む:

- (a) GHSに基づいて分類された化学物質リストの可能性のある開発の評価

主導国: カナダとアメリカ

権限/委任事項: 文書ST/SG/AC.10/C.4/2020/17及び本報告書のパラグラフ44と45

- (b) 各国におけるGHSの協調的な実施状況を促進し、GHSの実施状況をモニターする
- (c) 化学物質の管理に関する国際協定や条約の管理に責任のある他の機関や国際機関と協力し、そのような文書を通じてGHSを実施する

4. GHSの基準の適用に関するガイダンス、以下を含む:

- (a) 必要に応じて、基準の適用やあらゆる関連する危険有害性情報の伝達に関する課題を説明する事例の開発

主導国: アメリカ

フォーカルポイント: 実地的な分類の問題における非公式対応グループ

権限/委任事項: 非公式文書INF.31及び本報告書のパラグラフ27

- (b) 第4.1章の基準とGHSの附属書9（セクションA9.7）及び附属書10との整合性

主導機関: ICMM

権限/委任事項: 非公式文書INF.9/Rev.1及び本報告書のパラグラフ42

5. 能力開発、以下を含む:

- (a) 訓練及び能力強化活動の総括

- (b) ガイダンス文書の作成、研修プログラムに関するアドバイス、利用可能な専門家や資源の特定を通じて、UNITAR、ILO、FAO、WHO/IPCSなどの国連プログラム、研修や能力強化活動を行う特定機関に支援を提供